

7 これからのこと

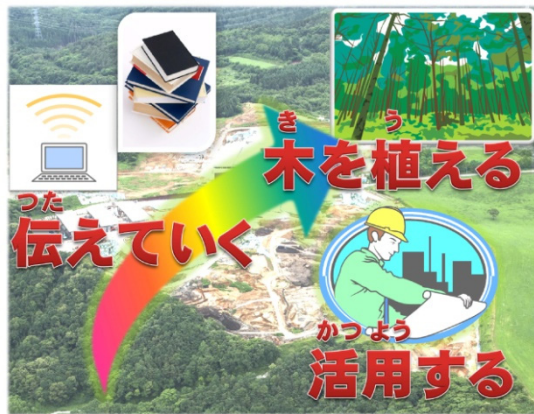
(1) ごみを片づけたあと、取り組んでいくこと

青森県は、たくさんの人たちの意見を聞きながら、ごみを片づけたあとの現場をどんな場所にしていけばいいのかを考えました。そして「環境再生計画」として、これからのことをまとめ、次のような取り組みをしていこうと決めました。

自然再生 現場に木を植えてもとの豊かな自然を取りもどす。

地域振興 地域が豊かになっていくよう現場を活用していく。

情報発信 取組を資料に残し、たくさんの人に知ってもらう。



現場に木を植える準備として、ごみを片づけ終わった場所に少しずつ苗木を植えて、育ち具合を見守ってきました。この苗木は、地元田子町が準備して、ぜひ現場に植えてくださいと青森県にたくしてくれたものです。これから、この苗木を使って、植樹祭を行うことにしています。

また、これまで取り組んできたことを多くの人に知ってもらうため、たくさんの方の学校をまわって授業をしたり、県民の方々などに実際に現場を見てもらったりしました。

そのほか、ごみを片づける様子や、汚れが広がらないように工夫していることなどを分かりやすく説明するため、水をきれいにする施設にパネルを作って飾ったり、色々な情報を誰でも見ることができるように、ホームページも作りました。



現場に苗木を植えている様子



水をきれいにする施設に飾ったパネル

(2)二度とこのような出来事を起こさないために

これまで見てきたように、捨てられたごみを片づけ、汚れた水をきれいにしていくために、とてもたくさんの人々が苦しみ、そして協力して、もとの豊かな環境を取り戻すという目標に向かって一生懸命にがんばってきました。

また、そのために驚くほどたくさんのお金がかかり、みんなが出し合った税金などが使われています。

この長い道のりの中ではぐくまれた知恵や技、経験などは、ぜひ未来に伝えていくべきかけがえのない宝物であり、決して忘れてはならないことです。

なぜなら、私たちが暮らしていく中で必ず「ごみ」は生み出され、ごみと向き合い、正しく処理していかなければ、環境を守っていくことはできないからです。

この悲しいできごとをずっと忘れることなく、二度とこんなことは起こさない、起こさせてはならないというメッセージをつなげていきましょう。

(3)自分にできることはないか考えてみよう

【ごみについて】

決まりを守ってごみを捨てないと大変なことになってしまうことは、今までお話ししてきた通りです。また、皆さんはきっと「リサイクル」にも取り組んでいると思います。

でも、ぜひ考えてほしいのは「ごみを減らす」ということです。ごみを処理するには、とてもたくさんのエネルギー（石油など）やお金がかかり、ごみが増えれば埋めるところが無くなってしまいます。

ですから、一番心がけてほしいのは、ごみを減らし、なるべくごみを出さないようにすることなのです。ごみを減らすために何ができるか考えてみましょう。

- 例えば…
- ・無駄なものを買わない。長く使えるものを選んで買う。最後まで大切に使う。
 - ・食べきれぬ分だけ買う。詰めかえ商品を選ぶ。使ってくれる人にあげる。

【水について】

水を汚すと、きれいにするためにとても手間がかかることがわかりました。また、水がきれいであれば、私たちが健康に暮らしていけないこともわかりました。

水を汚さないために、どんなことができるか考えてみましょう。

- 例えば…
- ・汚れをふきとってから食器を洗う。石けんやシャンプーをたくさん使わずに済ませる。
 - ・水を出しっぱなしにしない。節水タイプの洗濯機やトイレなどを選ぶ。

ほかにも、できることはたくさんあるはずです。お家の人やお友だちとも話し合っ、できることから始めていきましょう。

